科目名	ホスピタリティコミュニケーション	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群		
			総合策学部	□ 必修	■ 選択
英文表記	Hospitality Communication	開講年次	■ 1年 □ 2年 □ 3年 □ 4年		
			開講期間	■ 前期 □ 後期 □ 通年 □ 集中	
ふりがな	ちば りゅういつ	実務家教員担当科目	○	修得単位	2
担当者名	千葉 隆一	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用		
授業のテーマ	～ 明日の私はもっといい ～ 社会人として必要な基礎的な資質や能力を身に付け、私生活や将来どんな仕事に就いても役に立つ人間力（コミュニケーション力など）を学ぶ（磨く）。				
到達目標	1. 国際社会で必要とされるコミュニケーション力が身に付く。 2. 文化・社会の多様性を理解し、異なる価値観や文化的背景を持つ人々と協働する素養が身に付く。 3. 社会の動きをとらえ、視野を広げ、自ら課題を見つけ、考える力、チームで取組む力を養う。 4. 自己理解と自らの職業適性が確認でき、仕事をする意欲と自信を持てるようになる。				
授業概要	理論としての「ホスピタリティ・コミュニケーション」を理解し、形として具体的に行動に移し、身に付けていく授業です。トランプを使用しての自己理解（自己分析）やゲーム・グループワークをするので、積極的な参加姿勢が求められます。				
授業計画					
第1回	オリエンテーション（シラバスの確認 コミュニケーションの基本）				
第2回	第1章 コミュニケーション（自己理解）				
第3回	第1章 コミュニケーション（第一印象）				
第4回	第1章 コミュニケーション（聞く、聴く、訊く）				
第5回	第1章 コミュニケーション（バーバル、ノンバーバル）				
第6回	第2章 フィールドワークⅠ（千秋公園）				
第7回	第2章 フィールドワークⅡ（千秋公園）				
第8回	第3章 国際ビジネス&プロットコール				
第9回	第4章 日本文化に見るコミュニケーション				
第10回	第4章 日本文化に見るコミュニケーション				
第11回	第4章 ケーススタディ（ワールドカフェ方式）				
第12回	第5章 ユニバーサルデザイン・ユニバーサルサービス				
第13回	第6章 中国の古典「菜根譚」に見る“人との交わり”				
第14回	第7章 ビジネスシーンの充実				
第15回	第7章 総括				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	(1) 前回の授業で学んだことや配布した資料を復習して日常実践すること。(1.5時間) (2) 毎日、新聞を読む習慣をつけ、社会の動向を把握しておくこと(0.5時間)				
履修条件 受講のルール	講義を座って聴くだけの授業形態ではなく、グループワーク等への積極的な参加が必要な授業です。したがって、継続性が重要であり欠席しないこと。				
テキスト	特に使用しません。スライド、プリント等により授業を行います。やむを得ず欠席の場合は、配布物のプリントをコピーして内容を確認しておくこと。				
参考文献・資料	菜根譚（複数の出版社が出版している）、その他、授業内で適宜紹介する。				
成績評価の方法	定期試験60%、平常点（授業参加度、リアクションペーパー等）40%。出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、学則で試験が受けられません。				
オフィスアワー	授業内で連絡する。				

成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	企業での海外を含め長年の勤務経験や国内外での会社経営、医療法人の経営などの実務経験を基に、ビジネスシーン&プライベートライフに役立つコミュニケーションの授業を行います。国連の委員会元メンバーとしての活動経験を活かし、地域振興に係るキャリアデザインを支援します。
学生へのメッセージ	色々なことにチャレンジするなど多所懸命を志してください。その為にも必ず授業に出席すること。学生生活や卒業後の進路等で相談があればいつでもメールをください。